

令和6年1月 第1回定例庁議

1 開催日時 令和6年1月9日（火）午前9時15分～午前10時00分

2 開催場所 4階特別会議室

3 付議事項（第6条）

(1) 指示事項（市長の指示、注意等）

本年もよろしく願います。

各学校でインフルエンザが流行しているので、体調には気をつけてもらいたい。能登地方で大地震が発生し、多くの方が避難生活を余儀なくされており、まだ救助されていない方もいる状況のなかで、丸亀市としてできる限りの支援をしていくので協力をお願いします。

(2) 審議事項（市行政運営の基本方針、総合計画、重要議案、主要事業計画等の策定及び調整に関すること）

①第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画について（健康福祉部長）

3年毎に策定している計画について、計画の素案が完成したので確認をお願いします。

（資料に基づき説明＝健康福祉部高齢者支援課副課長）

(3) 報告事項（市政に重大な影響を与える法令等の制定改廃、国及び県の動向、又は重要な事務事業の進行状況に関すること）

なし

4 その他

①MIMOCA展覧会について（産業文化部長）

12月23日（土）から3月10日（日）まで、猪熊弦一郎現代美術館において企画展「RECOVERY 回復する」を実施する。ぜひ足を運んでいただきたい。

②七尾市への支援について（市長公室長）

ここからは、第2回目の能登半島地震支援対策本部会議とする。

まずは、七尾市に派遣している職員からの報告に基づき、状況等の報告と今後の対応について協議をお願いします。また、各部においても動きがあれば報告をお願いします。

・水道企業団について（秘書政策課長）

1月6日（土）から10日（水）までの期間で、第1陣が金沢市に派遣されている。日本水道協会からの要請により急遽現地支援に入ることが決定したもので、中四国ブロックからは広島市、岡山市、呉市、徳島市、香川県（企業団）が参加している。香川県（企業団）からは職員4名と給水車1台、支援車1台が派遣されてお

り、給水車1台は中讃ブロックの車両である。香川県(企業団)は、第2陣として、本日1月9日(火)に4名が出発する予定であり、うち2名は中讃ブロックの職員である。以後は5日間の業務体制で1月の間の支援を決定している。

・保健師の派遣について(健康福祉部長)

厚生労働省から香川県に要請があり、1月9日(火)から2月29日(木)まで石川県金沢市に保健師を派遣する。保健師2名、連絡要員1名をチームとして、5日間ごとのローテーション体制で対応する。現在、県内全市町に協力要請の調査が行われている。現在のところ七尾市への派遣要請は出していない。

・災害義援金募金箱について(総務部長)

現在、市内21か所に募金箱を設置している。コミュニティセンターでの設置については調整をしている。

・支援申出の対応について(秘書政策課長)

HPに能登半島地震の支援についての専用ページを作成しており、石川県のHPへのリンクを掲載し、義援金受付・義援物資受付ページに誘導している。七尾市が義援金受付専用口座を開設したという報道があったので、確認してHPに反映する。ふるさと納税の代理寄付については調整中である。

→丸亀市として被災地支援の専用口座は設置しないのか(副市長)

・設置しない。熊本地震の際も専用口座は設けていない。(総務部長)

・リエゾン職員の報告書について(市長公室長)

1月8日の報告時点では、33か所の避難所を開設しており、避難者数は2,073人となっている。七尾市のほぼ全域で断水状態であり、水の受け渡しと運搬が派遣職員の主な業務となっている。断水復旧の見込みは未定だが、水は足りており、物資の仕分けと配送の人員が不足していることから、七尾市からは当面の間3名程度の派遣要請が出ている。力仕事となるため、13日以降は若手職員を中心に派遣計画を立てていくことが望ましいと考える。派遣職員からの報告書については、各部署で確認できるよう庁議フォルダに入れる。

・派遣職員の宿泊場所はどこになるか。(産業文化部長)

→金沢駅付近のホテルに宿泊している。今後も連泊が可能かどうかはこれから調整する。

・派遣職員の1日の労働時間はどのようになっているか。(市長)

→把握できていない。七尾市職員と同等の勤務状況と思われる。

・職員の交代頻度についてはどのようにするのか。(市長公室長)

→5日間でのローテーションとする。(職員課長)

・今後の職員派遣の方針について(副市長)

第2班が本日出発しており、第1班は本日深夜に帰庁を予定している。第2班は避難所で物資の仕分け業務を行いながら、リエゾン兼支援員としての活動を予定し

ている。現地では車両が不足していることから、スタッドレスタイヤを装着し、チェーンを積み込んでいる車両は現地に置いておき、派遣職員が使用する。第1班は車で帰ってくるため、第3班も車移動となる可能性はあるが、今後の派遣職員の移動手段は電車となる可能性が高い。罹災証明書の発行等の業務は対口支援で補えていることから、対口支援は国の差配に任せ、国に依頼できないような隙間を埋める業務を丸亀市で対応する。七尾市からの派遣要請に応じて、当面は交代で職員を派遣する。

・うどんの炊き出し（産業文化部長）

七尾市職員の手を煩わせては本末転倒なため、全て丸亀市で手配する完結型で実施する必要がある。避難所によって炊き出しの実施状況の偏りがでているため、数カ所の避難所をキャラバン形式で回る形が望ましいと思われる。現在は計画案を七尾市に提出し、回答を待っている。

→キャラバン案は対応可能か。（副市長）

・準備期間を貫えれば対応できる。2日あれば約1,000食のうどんを用意することができると考えている。うどんの炊き出しで使用する水については、金沢市内の宿泊所でポリタンクに入れて運搬し、ガスボンベは丸亀市内で公用車に積み込み、高圧ガスの警戒表示をしたうえで運搬する。移動と運搬で最低でも3台は車両が必要となるため、スタッドレスタイヤ等の手配が必要となる。

③二十歳の成人式について（市民生活部長）

成人式は対象者1,099名うち、約8割にあたる876名の出席があり、コロナ禍前と同水準の出席があった。各部からの協力のおかげで無事に終えることができ、感謝している。

5 副市長から

能登半島地震への支援について各部局で情報収集に努め、親善都市である七尾市に対して丸亀市として何ができるかを考えてほしい。

6 教育長から

本日から各学校で3学期が始まる。今後も教育事業への支援をお願いする。

7 モーターボート競走事業管理者から

災害時にボートレースを開催するのといった内容の問い合わせが何件もあった。災害が発生している状況だからこそ開催を続け、収益を支援に充てることを検討している。また、日本財団が被災地に先遣隊を派遣していることから、日本財団への寄附についても検討している。

8 出席状況

(1) 庁議構成者（第5条）

職	氏名	出欠
市長	松永 恭二	○
副市長	横田 拓也	○
教育長	末澤 康彦	○
モーターボート 競走事業管理者	大林 諭	○
市長公室長	栗山 佳子	○
総務部長	七座 武史	○
健康福祉部長	奥村 登士美	○
市民生活部長	田中 壽紀	○
都市整備部長	伊藤 秀俊	○
産業文化部長	林 裕司	○
ボートレース 事業局次長	富士川 貴	○
教育部長	窪田 徹也	○
消防長	浪指 孝章	○
議会事務局長	渡辺 研介	○

(2) 関係職員（第9条）

市長公室職員課長	徳 田 寛
総務部財政副課長	藤 田 朝 子
高齢者福祉課長	堀 瀬 晴 彦
高齢者福祉課副課長	横 井 明 子

(3) 事務局（市長公室秘書政策課）

市長公室秘書政策課長	真 鍋 裕 章
市長公室秘書政策課政策マネジメント室長	宇 野 大志郎
市長公室秘書政策課主任	横 井 俊 介
市長公室秘書政策課主任	安 藤 悠 子